

## A-6 おむつカバーの研究 (その 2)

(冬季におけるカバー内の温度について)

福岡女子大学 平松 園江

夏季のおむつカバー着用時の体温及びカバー内の温度を測定して夏季のカバーは、布製又は孔開きビニールで通気口を工夫したT型パンツが優れている事、又吊りパンツとして通気口を開放するを可とする事を前に報告した。更に今回は冬季に於ては各種カバー内部の温度及び皮膚温・体温（腋下）について測定した。前にはサーミスターはビート型を用いたが、今回は感熱部サーミスターを、皮膚温と内部温が同時に測定出来るように装置し、高感度電気温度計を用いた。被検乳児6名に、ゴム（ネルつき）、不通気及び通気ビニール・孔明ビニール・フランネル・防水ギンガム・股ゴム附ギンガムの8種を比較着用させ測定した。着衣、寝具内でも、布製が皮膚温、内部温低く両者間の差も少く、通気がよく行われ、孔明が有効である。ビニールとゴムは大差ない等諸結果を得た。